

ルーブリック（反応速度）

○パフォーマンス課題の内容

落下距離の測定実験に取り組み，成功した回数を記録するとともに実験結果から自分の反応時間を算出する。  
それを踏まえて「フライングのルール」の妥当性を考察する。

達成度 評価の ポイント	評価の観点	レベル3 (十分に満足)	レベル2 (おおむね満足)	レベル1 (努力を要する)	評価の 資料
測定実験を適切な操作・方法で行い，実験結果を得ることができたか。	【観察・実験の技能】	正しい操作で実験に取り組むとともに，誤差の少ない測定結果を得ることができている。	正しい操作で実験に取り組むことができている。	誤った方法で実験に取り組んでいる。	指導者のメモ 実験プリント
既習事項の理論を，実験で測定した結果と比較しながら考察することができたか。	【思考・判断・表現】	フライングのルールの妥当性について，実験結果を踏まえた根拠とともに正しく考察できている。	フライングのルールの妥当性について，間違い等が見られるが，自分なりの根拠を示して考察できている。	フライングのルールの妥当性の判断には至らないが，自分の考えは示している。	実験プリント

※レベル1に到達していない場合は，実験の内容，実験結果とフライングのルールとの関連について，個別の指導等を通して学び直す機会を設ける。